

～ 医 療 ～

大川 金谷

携行医療品一覽表

分類	薬品名	備考
内 用 薬	解熱剤 ルカセ薬	アミノピリン・フェナセチン 混合薬 アミノピリン・フェナセチン サルファ剤 ピリットルカセ薬
	鎮痛剤	アミノピリン・フェナセチン セデス ズバリ
	激痛剤	ベンナル
	胃腸薬	ベフラ ミヤリカン 胃散
	酔い止め	トラベルミン クロロマイセチン
外 用 薬	消毒薬	マーキロロム オキシフル アクリノール 逆性石けん液
	やけど・傷 凍傷	ペニシリンほうこん 軟こう ワ
	虫さされ	スリミンコーワ軟こう ワ

分類	薬品名	備考
湿布薬	ゼノール	
点眼薬	リロマイ	
衛生材料	白うたい、滅菌ガーゼ、バンソウコウ、ハサミ、油紙、体温計、リバーフ、殺虫剤	

※ 各自胃腸薬・リバーフは持つこと。

1. 気圧の変化  
 腹痛、嘔吐、めまい、頭痛、判断力をたぶらせ体のバランスをくずしやまい。しかし、個人差が大きく日本のお山ではあまり問題にならないがしきじまおこる。
2. 暑外傷  
 日焼けも一種のやけどとなり皮膚の保護は必要。
3. 過激な運動  
 ① 睡眠をすくする。  
 ② たばこの調節をうまくする。ぬれた衣服は着ない(カゼの原因)  
 ③ 食糧がたたくしもなるべく食事は好。極度の疲労や病気が発生したときは量を減らす。下痢の時は絶食。  
 応急手当
1. 日焼病 (頭痛、めまい、ほてり)  
 風通しのよいところにたかせ、服をゆるめ、頭を低くしておおむけたれさせる。水を少量のませる。セデス ※ 懐子をかぶること。
2. やけど・傷  
 傷はアクリノールや逆性石けん液で消毒する。ペニシリンほうこん軟こうをぬり、滅菌ガーゼをかぶせる。
3. 凍傷  
 凍傷はリバーフをカリとうをぬる。おんさは軽いとき冷湿布をぬり、リバーフを復用。マッサージはダメ。
4. 虫さされ  
 最初にワセリンをぬり、それから殺虫剤をぬる。同時に熱をおこさず。